

3 文化芸術・生涯学習、スポーツ活動を活発にする

(1) 区民の文化芸術・生涯学習活動を支援する

●美術展示事業

身近な場所で芸術鑑賞ができるように公共施設での絵画展示と野外彫刻の設置を行っている。

絵画展示事業は、練馬区美術家協会の協力により昭和51年から区内の公共施設に絵画を展示し、隔年で展示替えを行っている。平成26年3月31日現在、区内33施設で75作品を展示している。

野外彫刻事業は、区内の公共施設や公園などに彫刻作品を設置するもので、昭和58年から行われている。平成5年に、区内在住の長尾幸作氏の寄付を基に練馬区芸術作品設置基金が設立され、これを財源として設置された7作品を含め、26年3月31日現在、41作品が各所に設置されている。

●文化芸術振興支援事業

幅広い世代に音楽鑑賞の機会を提供するため、大泉学園ホールで「ワンコイン・コンサート」を実施した。また、区内の文化芸術を共に振興していくため、区内大学と連携して、能楽関連講座（武蔵大学）、「武蔵野音楽大学教員による室内楽の夕べ」、「武蔵野音楽大学室内管弦楽団演奏会」、「『練馬ゆかりの名作映画』鑑賞会（日本大学芸術学部）」を実施した。

●文化芸術振興施策の推進

平成17年に制定、策定した「練馬区文化芸術振興条例」、「練馬区文化芸術の振興に関する基本方針」に基づき、様々な取組を進め、また22年度には、「練馬区文化芸術振興計画」を策定し、総合的、計画的に事業を推進することとした。23年度には区内大学や練馬区文化振興協会に加え、区内の文化芸術団体と協働して、それぞれの特性を活かしながら区内の文化芸術の振興施策を共に進めるために、「練馬区文化芸術振興連絡協議会」を設置した。

●練馬区文化振興協会

練馬区文化振興協会は、区民文化の向上および振興のための事業を行い、区民の自主的な文化活動の促進を図り、豊かな区民文化の創造に寄与することを目的として、区が出資し、昭和57年9月に設立された。平成24年4月には、公益財団法人へ移行している。

協会は、23年3月に策定したアクションプランに基づき、練馬文化センターおよび大泉学園ホールで実施する文化芸術の鑑賞機会の提供に加え、区民に身近な場所でのコンサートの実施、区民参加・学習型事業の実施など様々な事業を実施している。25年度は練馬文化センター開館30周年を迎えたことから種々の記念事業を実施した。また、20年度から、区が一括で譲渡を受けた芥川賞作家・五味康祐氏の遺品の整理・分類・活用を行うな

ど、区の文化振興を担う公的な団体としての多様な分野での事業展開に努めている。

26年度からは、石神井公園ふるさと文化館（石神井松の風文化公園管理棟併設の分室を含む。）の指定管理者となる。

事業内容はつぎのとおりである。

1 区民文化の向上および振興のための事業

(1) 舞台鑑賞事業（25事業）

優れた音楽・古典芸能などを身近な場所で鑑賞する機会を提供した。

(2) 地域活動事業（49事業）

区役所本庁舎アトリウムにおいて、毎月1回「アトリウムミニステージ」を実施したほか、「まちなかコンサート」の実施、練馬まつり等の地域イベントや障害者施設・高齢者施設等に演奏家を派遣・あっせんした。また、小学校へ狂言師を派遣し、狂言ワークショップ（体験教室）を行った。

(3) 練馬文化センター友の会事業

会員数1,400人（25年度末現在）

(4) 文化芸術資産活用事業

展覧会は、練馬文化センターギャラリーで小企画展「知られざる五味康祐」を開催した。また、五味康祐氏の収集品である貴重なオーディオ装置によるレコードコンサートを実施するとともに、親子向けオーディオ講座を実施した。

文学講座として、作家・松本清張をとりあげ「練馬時代の清張さん」を練馬文化センターで開催した。

2 区民の自主的な文化活動の促進に関する事業

(1) 区民参加・学習型事業（6事業）

「レクチャーコンサート」などの学習型事業やワークショップを実施した。また、小学生参加型ミュージカルや青少年を中心とした「ねりま若者文化祭ライブパフォーマンス2014」など区民参加事業を実施した。

(2) 人材育成活用事業

① オーディション合格者による新人演奏会の実施

② 「練馬区演奏家協会」との協働

区にゆかりのある演奏家等により18年3月に設立された練馬区演奏家協会による、レクチャーコンサートの開催や、区内イベントへの演奏家のあっせんなど、新進演奏家への活動の場の充実を図った。

(3) 連携支援事業

① 文化活動支援補助事業

区民の自主的な文化芸術活動を支援するため、練馬文化センター、大泉学園ホールを拠点とする登録文化団体等に対し施設使用料の補助を行った。

② 練馬交響楽団の活動支援

定期演奏会等の支援とともに、協会の行う演奏家

派遣等地域活動へ積極的な協力を得た。

- ③ 舞台芸術支援事業（4事業）
④ 区内三大学連携事業（10事業）

区および区内の三大学と連携し、特色ある事業を実施した。25年度は武蔵野音楽大学とはコンサート、日本大学芸術学部とは映画会での連携を行った。また、武蔵大学との共催で連続講座を開催するとともに、学芸員課程の実習の場で、五味康祐氏遺品を引き続き活用した。

- (4) 文化芸術情報発信事業
区内を中心として文化芸術活動を行っている団体等

を協会の登録文化団体とし、各団体の活動情報を協会ホームページを通して発信した。

●練馬文化センター

練馬文化センターは、区民文化の向上および振興のための事業や、区民の自主的な文化活動促進のための事業を行うことを目的として、昭和58年4月に開館し、平成18年4月からは、大泉学園ホールとともに、指定管理者が施設管理を行っている。

また、18年5月に完了したりニューアル工事により、各所にユニバーサルデザインを取り入れ、より誰にでも使い易いホールへと生まれ変わっている。

練馬文化センターの利用状況

平成25年度

施設名		大ホール	小ホール	ギャラリー	リハーサル室	集会室	計
区分							
入場者数(人)		285,846	131,495	7,896	55,422	17,833	498,492
利用件数(件)		680	735	144	2,362	1,178	5,099
利用率(%)		72.3	77.5	44.4	80.4	59.8	71.6
主催者別 利用件数	官公署・教育機関	181	109	4	213	36	543
	登録文化団体	11	12	0	165	36	224
	一般団体	388	508	111	1,672	1,029	3,708
	文化振興協会	58	77	28	232	33	428
	練馬区	42	29	1	80	44	196

注：「利用件数」は、午前・午後・夜間の各区分を1件とする。ただし、ギャラリーについては、1日を1件とする。
「利用率」は、利用件数を利用可能件数で除したものである。

●大泉学園ホール（大泉学園ゆめりあホール）

区民に文化的交流の場を提供し、区民文化の創造と発展に寄与することを目的として、平成14年2月に開館した。施設は大泉学園駅北口再開発ビル〔ゆめりあ1〕内にあり、5～6階部分に176席のホール、7階部分に展示ギャラリー（ゆめりあギャラリー）がある。練馬文化センターの姉妹館として位置づけられ、ホールの利用率は高い。

区分	施設名			
	ホール	ギャラリー	計	
入場者数(人)	48,307	10,185	58,492	
利用件数(件)	883	151	1,034	
利用率(%)	90.0	44.4	78.3	
主催者別利用件数	件	件	件	
	官公署・教育機関	71	7	78
	登録文化団体	22	0	22
	一般団体	778	144	922
	文化振興協会	6	0	6
練馬区	6	0	6	

注：「利用件数」は、ホールについては午前・午後・夜間の区分を1件とし、ギャラリーについては1日を1件とする。

「利用率」は、利用件数を利用可能件数で除したものである。

●美術館

練馬区立美術館は、区民の美術に関する知識および教養の向上を図ることを目的に、昭和60年10月に開館した。

美術館の事業運営についての幅広い意見を反映させる

場として、美術館運営協議会を設置している。この協議会は、美術に関する学識経験者、美術作家および学校教育関係者等で構成され、美術館の運営方針や事業計画を中心に協議を行っている。

1 展示事業

(1) 企画展

美術に関する調査に基づき自主企画の展覧会を平成25年度は4回開催した。

(2) コレクション展

企画展以外に美術館の収蔵作品からテーマを決めて特集展示している。

25年度は、2回の展覧会を開催した。

(3) 地域に根差した展覧会

区内在住の美術家協会会員の作品を紹介するため、毎年1回「練馬区美術家協会展」を開催している。25年度の出品点数は55点であった。

「練馬区民美術展」は区民の日頃の創作活動を発表する場として開催するもので、25年度は296点の出品があった。

「N+N（エヌプラスエヌ）展」は区内唯一の美術系大学である日本大学芸術学部と連携し、同学部の在学・卒業生を中心とした若手美術家の作品を展示している。

(4) 展示室等の貸出し

区民などの創作発表の場として一般展示室を開放し、企画展示室についても美術館の主催事業に支障のない期間（25年度は11月の一部と12月）に貸出しをしている。また、サークルの創作活動のために創作室の貸出しも行っている。

企画展

展覧会名	会期	内 容	観覧者数
牧野邦夫一写真の精髓	4/14～6/2 43日間	牧野邦夫（1925～86）は、大正末に東京に生まれ、1948年に東京美術学校油画科を卒業したが、戦後の激動期に次々に起こった美術界の新たな潮流に流されることなく、まして団体に属して名利を求めることなどからは遠く身を置いて、ひたすら自己の信ずる絵画世界を追求し続けた。没後の1990年に開催された遺作展は作品愛好家と画家たちに強い印象を与えたが、牧野が精魂こめて描き遺した作品群を再度調査し直し、より充実度を増しての公開を目指す20年後の本展では、より多くの人々にその真価を気付いてもらう絶好の機会となった。	人 17,415
鹿島茂コレクション3 モダン・パリの装いー19世紀から20世紀初頭のファッション・プレート	7/14～9/8 50日間	平成23年度よりフランス文学者の鹿島茂氏（1949～/明治大学教授）の膨大な古書コレクションから連続的に展覧会を開催している。第3回にあたる本展では、19世紀から20世紀初頭のール・デコの時代までに描かれたモードのイラストレーションを紹介、合わせて、京都服飾文化研究財団の貴重なコレクションより、同時代を代表する華やかな衣装を展示、それぞれの時代の流行のファッションから華やかな女性の装いを展覧した。	8,994
生誕120年 宮芳平展ー野の花として生きる。	9/15～11/24 61日間	宮芳平（1893～1971）は東京美術学校に学び、在学中、第8回文展に自信作「椿」を出品するも落選、このとき審査員長であった森鷗外を訪ねたことから二人の交流がはじまり、宮をモデルとした鷗外の短編小説「天寵」が生まれた。やがて、1923年に長野県諏訪高等女学校の美術教師として赴任し、65歳で退職するまで自然を対象に主観的風景を描き続けた。本展は生誕120年を記念し、生涯を市井の画家として生きた宮の画業を油彩画、ペン画などにより回顧した。	6,718
野口哲哉の武者分類図鑑展	2/16～4/6 43日間	1980年生まれの野口哲哉は、実際の製作と同じ手順で精巧なミニ甲冑を作り、人形に着せ、その武者たちの物語を紡ぎだす、洒脱と迫真を相持った美術家である。今回の展覧会は、一貫して鎧武者をモチーフに製作する野口のほぼ全作品と言える約80点を中心に、彼の発想の原点となった古今の美術作品や写真など約20点を展示した。	19,227

2 教育普及事業

展覧会関連講座を始め、各種講座やワークショップを実施している。また、「スクールプログラム」による団体鑑賞や職場体験等の受入れ、小・中学校の教員を対象に学芸員による作品解説を行うティーチャーズデイの実施、鑑賞学習教材の貸出しなど、学校との連携を深めている。

講座開設状況

平成25年度

		講座名	回数(回)	受講人数(人)	
美術館事業	展覧会 関連事業	講演会・シンポジウム	5	305	
		ワークショップ・講座	12	179	
		ギャラリートーク	20	1,778	
		コンサート・ ライブパフォーマンス	10	1,049	
		子ども向け 鑑賞プログラム	4	26	
	美術講座		3	82	
	美術館を楽しむワークショップ		8	93	
	その他		3	49	
	学校事業	スクール プログラム	団体鑑賞	17	661
			施設見学	5	113
職場体験			13	44	
出張プログラム			3	354	
職場訪問			1	5	
ティーチャーズデイ			4	52	
スクールミュージアム			1	31	
その他			4	22	
合計			113	4,843	

3 資料収集事業

区にゆかりのある優れた作品の収集を行うとともに、幅広い視野から近・現代の優れた美術作品を系統的に収集している。25年度は、寄贈の申出が75点あったが、資料収集委員会が開催されていないため、全所蔵数は24年度と同様で2,483点である。

●生涯学習活動の支援

生涯学習とは、生涯にわたって一人ひとりが自発的な意思に基づき、自分の適した手段・方法で行う学習活動である。

区ではこれまで、平成7年に策定した「練馬区生涯学習推進計画」、13年に策定した「練馬区生涯学習プラン21（第1期～第3期）」などを通じて、区民の多様な文化芸術活動やスポーツ活動を支援し、区民の主体的な学習要求である「知りたい・深めたい・活かしたい」という“学びの循環”による生涯学習の活性化を図ってきた。

しかし、急激な社会変化の中で、区民の学習ニーズは多様化するとともに、地域課題も複雑さを増してきている。それに伴い、生涯学習に期待される役割も、これまでの生きがいづくりや自己実現だけでなく、地域の教育力の向上やいきいきとした地域づくりに活かすことが重

要なテーマとなっている。そのため、多くの区民が様々な分野で活躍し、その学習成果が地域に還元されるように、生涯学習活動への支援をさらに充実していく必要がある。

区は、23年3月に、「人が育ち 地域をつくる 学びのまち ねりま」を基本理念とした「練馬区生涯学習推進計画」（23年度～26年度）を策定し、区民の主体的な生涯学習を支援し、生涯学習施策の総合的、効果的な展開を図っている。

●学習情報の提供・相談活動の推進

区民の生涯学習活動を支援するため、毎年「学習・文化ガイドブック」および「スポーツガイドブック」を発行するとともに、平成14年2月から区ホームページに、「ねりまの生涯学習」を開設し、生涯学習の施設、事業計画・事業案内等、最新の情報を提供している。また、生涯学習の相談やアドバイスなども行っている。

●ねりま区民大学の設置

移転した総合教育センターの跡施設を活かして、区民の生涯学習に関する活動や成果が豊かな地域づくりに活かされるよう、区民の主体的な生涯学習活動を支援し、地域活動を担う人材の育成と育成した人材を活かすことを目的として「ねりま区民大学」を設置する。

平成26年度は、25年度に策定した「ねりま区民大学基本計画」に基づき、27年4月の開設に向けて準備を進める。

●生涯学習団体の育成

生涯学習団体は、芸術・文化、市民生活、社会教育、子育て、健康、福祉、レクリエーション、スポーツ等、様々な分野で自主的な学習・スポーツ活動を展開している。平成26年3月31日現在、1,535団体が、区に届出されている。

区では、これらの団体の求めに応じて指導・助言をするほか、団体の学習・スポーツ活動をより広く情報提供するため、届出名簿一覧表を閲覧できるようにしている。

●区民参加と交流の促進

子育て・子供の教育をテーマとした講座（子育て学習講座）や、子供たちがいろいろな遊びや体験・学習等を行う講座（ねりま遊遊スクール）の企画運営をPTA・生涯学習団体・NPO等に委託し実施することにより、区民参加と地域の教育力向上を図るとともに、地域における子供たちの居場所の一つとしている。

●学習の機会の充実

1 子育て学習講座

地域や家庭における子育てや子供の教育は、人格形成の上で、大変重要である。PTA等の地域で活動している団体に、子育てや子供の教育に関する様々な課題等を学習する場として企画・運営を委託し実施している。平成25年度は、47講座実施し、延べ1,404人が参加した。

2 父親育ち講座（ねりまイクメン講座）

父親が子育てや家事に積極的に関わることができるよ

う、育児や家事について学ぶ機会を提供するとともに、子供と父親・父親同士の交流を図ることを目的として、23年度から、地域で活動している団体に企画・運営を委託し実施している。25年度は、21講座実施し、延べ493人が参加した。

3 ねりま遊遊スクール（子どもの居場所づくり）

放課後や休日などに、学校や公共施設等を会場に、子供たちがいろいろな遊びや体験活動・学習の機会を得るための場として、地域で活動している団体に企画・運営を委託している。25年度は、439講座実施し、延べ13,810人が参加した。

4 ねりま遊遊スクール（子どもによる講座づくり）

中学生が自ら講座の企画運営に関わることで、その自主性を育むとともに、地域における小学生と中学生の交流を図るために、14年度から中学校の部活動等の団体に委託し、実施している。25年度は、22講座実施し、延べ562人が参加した。

5 子供安全学習講座

子供が安全に、かつ安心して生活するために、子供自身が犯罪や災害などの危険から身を守る方法を学んだり、大人が子供の安全に関する知識を習得する講座である。

地域で活動している団体に企画・運営を委託している。25年度は、6講座実施し、延べ113人が参加した。

6 珠算コンクール

珠算の技術向上と発展を図るため、小・中学生を対象に、練馬区珠算教育連盟との共催で、年1回珠算コンクールを開催している。25年度は、172人が参加した。

7 人権学習

現代社会の様々な人権問題に関する学習を、生涯各期にわたり推進するため、人権講座を開催している。

- ① 青少年向け
 - ・子供のための人権人形劇（1回実施、65人が参加）
 - ・青少年のための人権学習講演と映画のつどい（275人が参加）
- ② 地域ふれあい講座（5回実施、68人が参加）

8 武蔵大学特別聴講生

武蔵大学に4月から翌年3月までの1年間、一般の学生と一緒に授業を聴講する特別聴講生を派遣している。

修了後、ボランティア活動を行う意思があることを条件に、聴講料の一部を区と武蔵大学で負担している。25年度は、28人の聴講生を派遣した。

●区民発出前講座

様々な趣味や特技を持つ区民・団体に、講座の企画内容を登録してもらい、地域の団体・サークルに講師として紹介している。平成13年6月に講座登録を開始し、26年3月31日現在で、90講座が登録されている。

●情報教育推進事業

情報機器や情報通信ネットワークが普及していく中で、情報を収集し正しく判断する能力や、自ら情報を発

信していく能力の育成およびインターネットなどを悪用した犯罪等に対処できる情報能力を育成する。

1 中学生のためのニュース番組制作講座

中学生が実際にニュース番組の制作を体験することで、情報を発信するプロセスや仕組みを学んでいき、能動的に情報リテラシーを理解する能力を育成する。平成22年度から、日本大学芸術学部運営に委託し実施している。25年度は、19人が参加した。

2 親子NIE講座

情報を読み取り、整理し発信する能力を育成するため、新聞活用学習（NIE）を22年度から実施している。25年度は、親子対象延べ68人が参加した。

●学校施設の地域開放推進

学校教育に支障のない範囲で、学校が地域の核として健全で豊かなコミュニティづくりの場となることを目指して、地域住民の学習・文化・レクリエーション・スポーツ活動の場として、学校施設を開放している。また、児童の健全育成を目的に区立小学校の校庭を遊び場・スポーツの場として開放している。施設開放は、当該校と地域の住民による学校応援団や学校開放運営委員会に学校開放事業の運営を委託しているほか、学校への事前申請に基づき、区民の一般利用に開放している。

1 校庭開放

平成26年3月31日現在、区立全小学校（65校）の校庭を、地域の子供たちの健全な遊び場、スポーツの場として開放している。25年度は、年間では全校で延べ1,039,453人の利用があった。内訳は、689,092人が個人利用、350,361人が少年スポーツ団体などの利用であった。

2 学校図書館開放

子供を主とした地域住民に対して、区立小学校図書館（室）を開放し、図書の貸出しと読書・学習の場を提供している。

26年3月31日現在、42校を開放し、蔵書数は270,666冊である。また、25年度は延べ192,964人の利用があり、54,538冊を貸し出した。

また、13年度から、区立図書館から離れた場所にある学校開放図書館に、区立図書館資料の検索ができる端末を設置し、25年度末時点では、5校で予約・貸出しを実施している。25年度は3,019冊の貸出しがあった。

3 教室開放

区立小学校の余裕教室を活用して整備した開放用施設を、地域住民の身近な学習・文化・レクリエーション活動の場として開放している。

26年3月31日現在、19校で46施設を開放している。25年度は3,168件、延べ61,832人の利用があった。

4 学校体育施設の開放

区民がスポーツ活動を身近に行える場として、区立学校体育施設（体育館・プール）の開放を行っている。これは区民の体力増進や、健康管理のために場を提供する

だけでなく、スポーツを通じて、学校が地域の核として健全で豊かなコミュニティづくりの場となることを目指すものである。

25年度の学校体育館開放は、38校の小中学校で実施し、延べ179,895人が利用した。また、プール開放は9校の小学校（ただし夏休み期間中のみ）で、延べ5,655人が利用した。

5 学校施設の一般利用

学校応援団や学校開放運営委員会による施設開放のほか、区立の全小・中学校の学校施設を、学校教育に支障のない範囲で、学校への事前申請に基づき、区民の一般利用に提供している。

提供する施設は、校庭、屋内運動場、教室などのほか、中学校18校に設置済みの第二屋内運動場（格技室）や開進第二中学校と大泉中学校に設置しているセミナーハウスがある。

●少年自然の家

少年自然の家は、恵まれた自然環境の中での集団宿泊生活を通じ、少年たちの創意と活力あふれる人間形成を図るとともに、区民の健全な余暇活動に役立てるため設置されている。

少年自然の家にはベルデ（スペイン語で「みどり」という意味）という愛称が付いており、浅間山の麓にベルデ軽沢、伊豆下田にベルデ下田、美ヶ原高原の麓にベルデ武石、内房岩井海岸にベルデ岩井がある。

小・中学校の移動教室、中学校の臨海・林間学校に利用されているほか、夏・冬休みを中心に区内の少年団体や区民にも広く利用されている。

施設名	利用者数
軽井沢少年自然の家（ベルデ軽井沢）	延べ 34,277人
下田少年自然の家（ベルデ下田）	15,315
武石少年自然の家（ベルデ武石）	26,279
岩井少年自然の家（ベルデ岩井）	18,006
計	93,877

注：小・中学校の校外授業、少年団体や区民の総利用者数である。

●生涯学習センター

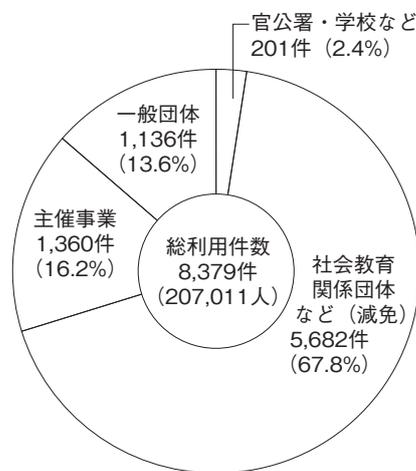
昭和28年に練馬公民館として開館以来、区の生涯学習の中心的施設として区民に親しまれてきたが、平成24年4月から区民生活事業本部地域文化部文化・生涯学習課に所管が移行し、名称を「生涯学習センター」と変更した。

現在は、生涯学習の中核を担う施設として、練馬公民館で行っていた事業を継続しつつ、学習や文化芸術活動を支援している。また、他施設、他施策との連携による幅広い事業展開や文化芸術・生涯学習の総合的な情報の収集・提供機能の充実を図り、人づくり・地域づくりを総合的に推進している。

生涯学習センターの事業実施状況 平成25年度

事業名	実施状況
学びふれあい講座	14講座、延べ2,690人受講
寿 大 学	65歳以上対象
	2回、延べ2,928人受講
寿大学通信講座	60歳以上対象
	書道・俳句の2科目、延べ6,499人受講
寿大学通信講座	講師による直接指導
スクーリング	5回、延べ163人受講
寿大学通信講座	1回、書道177点・俳句152句出品
書き初め展	
児童合唱団	毎週土曜日練習 演奏会6回
視聴覚事業	名画鑑賞会、子ども映画会50回、延べ7,062人入場
サークル文化祭	1回、延べ9,758人入場
区民文化祭	1回、延べ12,935人参加
芸術鑑賞会	6回、延べ1,790人入場
公開講座	6講座（大学4校、高校1校） 延べ929人受講
サポーターズ講座	料理講座13講座、一般講座7講座、延べ1,542人受講

生涯学習センターの利用状況 平成25年度



●生涯学習センター分館（旧総合教育センター）

平成26年3月末に光が丘へ移転した総合教育センター跡施設として、26年4月に開館した。総合教育センターの事業である、ジュニア・オーケストラなどの各種事業を引き続き実施している。

1 区民囲碁大会、区民将棋大会

それぞれ年1回の開催であり、初心者から有段者まで老若男女を問わず楽しく腕を競っている。25年度の囲碁大会は90人、将棋大会は86人が参加した。

2 ジュニア・オーケストラ

小学4年生から18歳までの少年少女を団員として、年40回程度練習を行い、学校演奏会と定期演奏会をそれぞれ年1回開催している。26年4月現在の団員は70人である。

3 弦楽体験教室

小学4年生から中学生で弦楽器の初心者を対象に、6月から9月にかけて、全9回で1コースの体験教室を開催した。25年度は15人が参加した。

●石神井公園ふるさと文化館

区の伝統文化を生かし、新たな地域文化を創造するため、観光振興にも寄与する博物館機能を有する生涯学習施設として、区立石神井プール敷地（石神井町5-12-16）に平成22年3月28日に開館した。

また、隣接の区立池淵史跡公園内に茅葺屋根の民家「旧内田家住宅」（区指定文化財）を移築復元し、建物内部も公開している。

館の展示案内や各種交流事業に区民サポーター109名が携わり、区民と館を結ぶ役割を担う存在として活動している。25年度は延べ195,296人が来館した。

新たな文化芸術の拠点として、石神井公園ふるさと文化館分室を区立石神井松の風文化公園内に26年4月1日に開設した。練馬ゆかりの文化人に関する展示事業と作家・五味康祐氏が愛用したオーディオの展示などを行っている。

1 展示事業

(1) 常設展

「江戸・東京の近郊の暮らし」をテーマに、練馬区の歴史・民俗・伝統文化の特色を伝える展示を行っている。縄文時代の土器などの出土品から、練馬大根の関連資料、アニメーション資料などがあり、様々な資料を体験しながら楽しく学ぶことができるような展示構成としている。

(2) 特別展

区の歴史などのほか幅広い視野からテーマを設定した特別展を25年度は2回開催した。（有料展）

特別展

平成25年度

展覧会名	会期	内容	観覧者数
特別展「懐かしの風景 北原コレクションの世界」展	9/21～11/17 50日間	ブリキのおもちゃ博物館長北原照久氏のコレクションの中から、大正・昭和戦前期から高度経済成長期後半にかけてのマスコットやポスター、ノベルティ・グッズ、おもちゃなどを展示した。	人 4,939
特別展「江戸の食文化」展	1/25～3/16 44日間	江戸の食文化とそれを支えた練馬大根について、和本や浮世絵などから紹介した。	4,736

特別展関連講演会

平成25年度

講演会名	参加人数
講演会「コレクションの愉しみ」	人 92
講演会「江戸の食文化—周辺農村との関連を含めて」	86
講演会「発酵食品 神秘の力」	88

(3) 企画展

収蔵資料等を活かした企画展を25年度は2回開催した。（無料展）

企画展

平成25年度

展覧会名	会期	内容	観覧者数
収蔵品企画展「発掘された練馬—出土品からみるくらし—展」	6/29～8/4 32日間	区内で多く発掘されている縄文時代の遺跡からの出土品を中心に展示し、当時のくらしを紹介した。	人 1,748
（公財）特別区協議会 練馬区文化施設魅力紹介展示「来て見て発見！練馬区立石神井公園ふるさと文化館」	5/9～6/4 23日間	館内の展示や施設、石神井公園の歴史・自然、練馬の近代農村文化やアニメーションについて、東京区政会館1階において、出張展示を行った。	

(4) 公募展

地域の文化芸術振興に寄与すること等を目的とした公募展を開催した。

公募展

平成25年度

展覧会名	会期	内容	観覧者数
第一回ねりま手工芸公募展 ※ねりま手工芸公募展実行委員会主催	8/31～9/8 8日間	区在住・在勤・在学のアマチュアの方を対象に募集した刺繍、和紙画、陶芸、染織、七宝、彫金等の手工芸作品64点を展示した。	人 1,638

(5) ギャラリー企画展

写真などテーマ別のギャラリー展示を25年度は1回開催した。

ギャラリー企画展 平成25年度		
展覧会名	会期	内容
ギャラリー企画展「ホテルー生命の輝きー」写真展	6/1～7/31 52日間	練馬区内でも生息していたホテルの生態を、ゲンジボタルを中心とした約30枚の写真パネルで紹介した。

(6) わがまち練馬情報コーナー1・2

隣接する都立石神井公園を始めとした区内の自然・名所や、伝統工芸、ねりコレなどの産業情報、区民の創作作品を展示、紹介している。

2 教育普及事業

区の歴史・民俗・伝統文化等に関する講座、旧内田家住宅を活用した季節体験事業、親子でのふれあいを楽しめる催しなどを実施している。また、幼稚園、保育園、学校の団体見学や職場体験等の受入れ、学校への講師派遣や大学の実習生受入れ等も行っている。

講座等開設状況 平成25年度

事業名等			回数	参加人数
ふるさと文化講座			8回	595人
季節体験事業（端午の節句、七夕、十五夜等）			7回	
ふれあい土曜事業			51回	1,744人
その他主催事業（夏休みイベント、ふるさと探訪等）				2,122人
学校等団体見学	小・中学校	85校		6,278人
	幼稚園・保育園	10園		289人
職場体験			10件	47人
講師派遣			13件	(対象) 724人
実習生受入れ			1件	4人

3 資料収集事業

区の伝統文化に関わる資料を幅広く系統的に収集している。25年度は新規受入れ資料が266点あり、全所蔵数は資料・図書を合わせて32,487点になった。

4 施設貸出し

区民の文化活動の練習・発表の場として、多目的会議室、企画展示室、ギャラリー、展示用ボックス等の貸出しを行っている。

施設利用状況

平成25年度

施設	貸出数（延べ）
多目的会議室	198件
会議室（1・2）	215件
企画展示室	46日
ギャラリー	90日
展示用ボックス	213月

5 石神井公園ふるさと文化館運営懇談会

館の運営や事業内容等について区民および識者等の意見を反映させるために「練馬区立石神井公園ふるさと文化館運営懇談会」を設置している。25年度は2回開催した。

(2) 読書活動を支援する

●図書館

区立図書館は、地域の情報拠点として、生涯学習や暮らしに役立つ図書館資料の貸出しを始め、おはなし会やよみきかせなどの各種サービスを展開している。資料の収集・提供を充実するとともに、ビジネス、子育て、住民活動など、人々の生活や仕事の上で必要な資料や情報を提供するなどの支援を行っている。

また、これまでの貸出しやリクエストサービスに加えて、利用者が求めている資料を的確に探し出し、調査や学習を手助けするためのレファレンスサービスを重要なサービスとして位置づけ、その充実を図っている。

さらに区は、急速に進む情報化社会の中で、図書館が求められる多様なニーズや直面する課題を検討し、「練馬区立図書館ビジョン ～これからの図書館サービスのあり方～」を平成25年6月に策定した。これにより、図書館運営の基本理念を「情報拠点として 区民に役立ち頼りにされ 愛される図書館」とし、情報発信拠点機能の充実、学校および子育て家庭などへの支援、図書館の資料や人材の活用、区民や地域との協働を、これからの図書館サービスの方向性として定め、サービスの充実を図っていく。

1 施設の充実

図書館利用者の利便性の向上を図るため、予約した図書館資料の受取および返却ができる図書館資料受取窓口（高野台・豊玉）の3か所目として、石神井公園駅受取窓口（石神井町7、西武池袋線高架下）を26年4月に開設した。

また、小学校低学年までの乳幼児・児童とその保護者を対象とする、南大泉図書館分室こどもと本のひろばを25年4月に開設した。

そのほか、区立小学校の開放図書館5校に区立図書館の資料を検索できるパソコンを設置している。

2 図書等資料の充実

東京都公立図書館調査（24年度実績）によれば、個

人貸出点数は23区中第2位、予約点数は第1位となっている。とりわけ図書館ホームページによる予約サービスを利用した予約が増加している。

区はこのように図書館の利用が多い一方、人口一人当たりで見ると所蔵資料数は23区中20位と低位に位置している。この状況を改善するため、所蔵資料数を増やし、同時に書架等の整備による収蔵力の充実を図っていく。

3 図書館の利用促進

図書館では、図書館職員による大人向けの朗読会や福祉施設への出張おはなし会、外部講師を招いての生活や趣味の講座・講演会、地域に関連した事業や区民参加型のイベントなど、区民の生活に密着した魅力ある一般利用者向けの事業を全館で実施し、区民の読書活動に繋げている。また、映画を通して社会問題を考える場を提供する映画会や、図書館により親しみを感じてもらえるよう、普段は入れない書庫などを実際に見てもらおう図書館ツアーや見学会も行い、図書館への理解を深めてもらえるよう努めている。

また、幅広い資料の収集を積極的に行い、季節の話題や時事問題など、新鮮なテーマの資料を展示し、新しい興味の発見ができる場を提供していく。

4 子供の読書活動の推進

図書館では、21年3月に「練馬区子ども読書活動推進計画（第二次）」（26年3月には改訂版を策定）を策定し、区の子供たちが読書の楽しさや素晴らしさを知り、たくさんの本と出会えるように、区を挙げて様々な取組を進めている。

こうした取組を通して、読書意欲を喚起し、読書環境を整備することで、子供の読書活動が充実するように支援を行っている。

図書館では、絵本や紙芝居、図鑑や読み物などを豊富に所蔵した児童コーナーを設置しており、児童向けのおはなし会、おたのしみ会などの多彩な催しを行っている。中高校生向けとしては、青少年コーナーを全館に設置し、読書活動の推進と居場所の提供に取り組んでいる。

また、親子のふれあいと、本への親しみを深める活動として、（保健相談所で行う4か月児健診時に案内し）図書館で保護者に絵本等を手渡すブックスタート事業への取組（25年度4,484セットを配布）や、児童に無償で図書の貸出し等を行っている地域文庫等への本の助成（18団体876冊）、会場に用意した様々な本の中からクイズの答えを見つけ出す参加型イベント「本の探検ラリー」事業を実施している。

子供たちの読書活動を推進していくため、学校への団体貸出しや調べ学習用資料の貸出し、ブックトーク、学校等の教職員を対象とした読書活動の講習会などの支援を実施している。大泉図書館、貫井図書館、稲荷山図書館、小竹図書館、南大泉図書館、春日町図

書館および南田中図書館では、学校支援モデル事業を実施している。この事業では、60校の学校図書館に学校図書館支援員を配置し、各校の学校図書館運営計画に基づき、調べ学習の支援や学校図書館資料の選定に対する助言・整理の一層の充実などを行っている。また、ブックスタート事業や本の探検ラリーでのボランティア団体との協働や、おはなし会等の事業に参加するボランティアへの研修会を実施し、活動の担い手を育成している。

5 障害のある方へのサービス

区立図書館は、誰もが利用できる施設として、身体に障害のある方を始め図書館の利用が困難な方へのサービスの向上や施設の整備を進めている。

図書館では、ボランティアの協力を得て墨字図書（文字で書かれた本）を点訳・音訳して点字資料や録音資料を製作（25年度33点製作）するとともに、音訳ボランティアの養成講習会も開催している。また乳幼児や知的障害児向けに布の絵本を製作し（所蔵数1,133点、25年度33点製作）、それらの製作の講習会も開催している。視覚障害者に対しては、ボランティアが本や雑誌などを音読する対面朗読サービスを行い、延べ1,345時間が利用されている。

点字資料・録音資料は、全国の図書館などと連携して相互貸借を行い利用者に郵送貸出しサービスを行っている。18年1月からは、外出が困難な障害者等（区民）を対象に図書館資料の郵送サービスを行っている。

6 情報化への対応

現在、区立図書館は、全12館および受取窓口等をネットワークで結び、資料の提供を行っている。

情報機器を使用したサービスとして、①図書館ホームページ（パソコン・携帯電話）・館内に設置した自動検索機による資料の検索・予約や貸出し・予約情報の確認サービス、②図書館情報ボックス（電話による自動音声システム）による貸出し・予約情報の確認サービス、③Eメール・図書館情報ボックスによる予約資料確保・延滞資料の連絡、④インターネット閲覧用パソコンの全館への設置、を実施している。

図書館ホームページには、子ども読書活動推進の一環として、子供向け・青少年向け・区立小中学校学習支援のページを開設している。なお、25年1月に図書館システムの更新を行い、資料予約機能等の改善を図った。

また、貸出手続の待ち時間短縮を図るための自動貸出機と、資料の紛失を防止し、資料の適正な管理を図るための貸出手続確認装置を全館に設置している。

図書館の所蔵資料

平成26年3月31日現在

種別	館名	光が丘	練馬	石神井	平和台	大泉	関町	貫井	稲荷山	小竹	南大泉	南大泉分室	春日町	南田中	合計
図書資料	一般書(冊)	209,415	104,083	157,765	93,215	146,229	76,523	88,825	58,102	54,361	46,963	1,694	73,975	61,236	1,172,386
	青少年向け(冊)	16,822	2,014	6,562	3,200	9,096	3,328	5,200	3,820	3,602	8,642	-	10,516	5,908	78,710
	児童書(冊)	86,874	37,337	43,268	38,106	58,260	35,835	44,029	23,737	24,291	18,032	18,881	24,530	33,615	486,795
	その他図書(冊)	1,702	2	2	0	0	0	0	1	3	1	0	3	0	1,714
	合計(冊)	314,813	143,436	207,597	134,521	213,585	115,686	138,054	85,660	82,257	73,638	20,575	109,024	100,759	1,739,605
雑誌	16,032	4,959	3,910	4,127	3,743	3,777	4,364	3,387	2,512	2,125	159	2,869	2,336	54,300	
視聴覚資料	C D(組)	17,770	10,587	6,930	6,677	7,664	5,841	8,400	4,711	7,288	4,846	-	9,369	5,187	95,270
	カセットテープ(組)	206	210	233	613	238	65	476	114	111	-	-	73	-	2,339
	レコード(組)	370	22	1	810	47	282	19	-	-	-	-	-	-	1,551
	公共ビデオ(組)	193	100	123	113	95	195	155	98	117	-	-	95	61	1,345
	一般ビデオ(組)	748	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	748
	その他視聴覚資料(組)	87	26	29	27	26	26	27	28	28	26	0	25	26	381
合計(組)	19,374	10,945	7,316	8,240	8,070	6,409	9,077	4,951	7,544	4,872	0	9,562	5,274	101,634	
視覚障害者用資料	点字図書(冊)	1,223	1,172	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,395
	視覚障害者用録音図書(組)	3,714	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,714
	点字雑誌(組)	515	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	515
	視覚障害者用録音雑誌(組)	845	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	845
	視覚障害者用CD(組)	197	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	197
昆虫標本(点)	-	-	-	-	-	-	-	-	3,261	-	-	-	-	-	3,261
マイクロフィルム(点)	1,772	-	-	1,368	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,140

図書館の利用状況等

平成25年度

種別	館名	光が丘	練馬	石神井	平和台	大泉	関町	貫井	稲荷山	小竹	南大泉	南大泉分室	春日町	南田中	全館合計	高野台窓口	豊玉窓口	合計
個人利用登録者数(人)		42,168	29,435	25,784	16,673	21,447	14,732	22,130	7,226	12,250	11,939	1,007	12,607	5,975	223,373	-	-	223,373
団体利用登録数(団体)		221	126	80	172	131	153	63	78	72	80	3	69	82	1,330	-	-	1,330
来館者数(人)		804,281	558,972	392,071	300,322	356,666	245,628	705,542	132,825	259,801	266,177	54,879	384,772	274,007	4,735,943	-	-	4,735,943
貸出数	個人貸出者数(人)	367,987	208,989	202,863	141,255	187,642	139,677	204,861	62,815	118,946	142,091	22,516	161,304	120,983	2,081,929	14,037	11,821	2,107,787
	個人貸出点数(点)	1,080,168	592,034	585,420	434,520	570,292	428,173	541,151	199,338	345,899	447,740	86,634	442,816	354,291	6,108,476	29,657	24,591	6,162,724
	一般図書(冊)	916,495	504,613	513,428	372,096	496,108	361,315	459,714	168,973	281,997	391,211	85,356	374,431	301,761	5,227,498	24,318	19,409	5,271,225
	点字図書・録音図書(組)	2,477	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	2,483	-	-	2,483
	雑誌(冊)	48,729	22,626	18,198	21,713	21,878	19,306	22,946	14,076	14,373	19,385	702	17,964	15,863	257,759	1,539	1,213	260,511
	点字雑誌・録音雑誌(組)	3,817	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,817	-	-	3,817
	CD、カセットテープ、レコード(組)	106,732	64,716	53,708	40,659	52,206	47,496	58,378	16,234	49,495	37,113	574	50,389	36,533	614,233	3,796	3,965	621,994
	公共・一般ビデオ、その他(組)	1,820	79	86	52	100	56	112	55	28	31	2	32	134	2,587	4	4	2,595
	視覚障害者CD、カセットテープ(組)	98	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	99	-	-	99
	団体貸出点数(点)	12,033	7,104	12,418	11,363	12,740	10,899	7,172	10,396	9,318	5,452	791	8,810	8,928	117,424	-	-	117,424
協力貸出点数(点)	5,804	795	1,009	602	835	371	716	380	414	249	8	491	315	11,989	-	-	11,989	
貸出予約数	個人貸出予約数(点)	301,299	214,558	193,227	147,843	174,645	159,465	207,387	59,245	138,348	139,957	11,336	142,369	93,078	1,982,757	33,312	27,290	2,043,359
	図書等(冊)	246,042	171,624	156,818	119,256	136,368	122,261	165,505	46,959	101,045	109,148	10,081	116,221	75,559	1,576,887	27,203	21,434	1,625,524
	雑誌等(冊)	14,497	9,756	8,151	7,745	9,928	7,177	10,999	3,619	7,264	8,125	416	7,752	4,510	99,939	1,734	1,352	103,025
	CD、ビデオ等(点)	40,760	33,178	28,258	20,842	28,349	30,027	30,883	8,667	30,039	22,684	839	18,396	13,009	305,931	4,375	4,504	314,810
団体貸出予約数(点)	1,517	3,165	4,009	2,669	7,616	3,153	2,956	2,074	2,275	2,944	71	3,106	2,609	38,164	-	-	38,164	
協力貸出予約数(点)	725	183	193	140	149	67	137	70	89	46	5	93	62	1,959	-	-	1,959	
対面朗読数(時間)	32	24	4	10	124	-	573	-	-	-	-	-	578	-	1,345	-	-	1,345
会議室利用数(回)	196	157	5	65	97	-	-	14	3	-	-	282	69	888	-	-	888	
視聴覚室利用数(回)	87	-	-	209	65	83	177	-	-	-	-	-	-	621	-	-	621	
ギャラリー利用数(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49	-	49	-	-	49	
図書館開館日数(日)	312	314	314	314	314	314	314	314	314	314	292	314	316	4,060	-	-	4,060	

※光が丘には外出困難障害者郵送サービス分を含む

催し物名	実施回数等	参加者数
よみきかせ・おはなし会	877回	16,374人
おたのしみ会	30回	1,273人
こうさく会	21回	656人
児童映画会	37回	1,615人
人形劇	11回	1,007人
昆虫教室	3回	58人
子ども読書の日・子ども読書記念週間記念行事	20回	986人
図書館ボランティアフォロー講習会	1回	13人
手づくり講習会	1回	30人
よみきかせ講習会	3回	88人
学校・施設教職員講習会	2回	36人
本の探検ラリー(図書館開催)	2館	384人
本の探検ラリー(小中学校開催)	48校	5,471人
その他児童向け事業	34回	1,186人
布の絵本作成講習会	4回	92人
音訳者等養成講習会	13回	209人

平成25年度

区 分	内容および参加人数	
各 種 大 会	区民体育大会 34種目 総合開会式	21,540人 496人
	都民体育大会	32種目 583人
	都民生涯スポーツ大会	15種目 199人
	城北地区競技会	6種目 319人
	少年野球大会	65チーム 1,020人
	女性スポーツ大会	3種目 1,376人
	都民スポレクふれあい大会	3種目 63人
野 外 活 動	6月29・30日実施 白糸の滝	168人
	11月16・17日実施 養老溪谷	158人
わんぱくキャンプ	7月25・26日実施 武石栗栗キャンプ場	70人
ス ポ ー ツ 教 室	30種目 73教室	7,440人
夏 休 み 水 泳 教 室	3校	212人
少 年 少 女 ス ポ ー ツ ふ れ あ い ひ ろ ば	2月15日実施	78人
体 育 の 日 記 念 行 事	10月14日実施 7会場	総合体育館ほか 20,847人
ね り ま 光 が 丘 ロ ー ド レ ー ス	11月10日実施	2,522人

平成25年度

(3) スポーツ活動を支援する

●スポーツの機会の充実

区は、区民の誰もが、身近な地域で「いつでも どこでも いつまでも」スポーツに親しむことができる環境を充実させるとともに、スポーツの推進を通じて人や地域のつながりを醸成することにより、活気あふれるまち“ねりま”を目指すことを、基本理念とし、平成26年3月に第2期計画として「練馬区スポーツ推進ビジョン」を策定した。

また、本ビジョンの基本理念を実現するための具体的な取組としては、前計画の考え方を引き継ぐとともに、新たに「スポーツが持つ力の地域への活用」を設定し、地域を活性化させるイベントの実施とスポーツを通じた地域コミュニティを活性化させる取組を進めることを加えた。

今後も、より身近な地域で、多くの区民がスポーツに親しむ機会を、充実していく必要がある。

●地域スポーツ指導者の育成

区には、平成26年3月31日現在1,081の生涯学習スポーツ団体が届出をして活動している。一方では、スポーツをやりたいでもその方法が分からない区民も数多くいる。

区では、区民の多様なスポーツへの要望に応じられるよう、また、生涯スポーツの日常化を目指すスポーツクラブの育成のために、資質の高い指導者の育成と確保に努めている。

1 スポーツ推進委員

区民の要望に応じて、地域スポーツの振興を図るため、スポーツに関する指導、助言を行うことを主目的に、40人（26年4月1日現在）のスポーツ推進委員を委嘱している。

主な日常活動として、地域に向けて、様々なスポーツイベントを企画・実施し、スポーツ振興を図っている。さらに、区民に開放している小・中学校体育館の管理運営やスポーツサークル等の育成・指導等も行っている。このほか区民歩行会、わんぱくキャンプ、夏休み水泳教室等の指導員としても活躍している。また、近年では、学校応援団ひろば事業へニュースポーツを中心としたスポーツの出前を行う「スポすい・ひろば事業」の取組を積極的に行っている。

2 スポーツリーダー養成講習会

スポーツ指導者は、専門知識や経験に基づく高い指導能力が求められる。

区民の様々な要望に応えられる指導者の育成・確保を図るため、区では、スポーツリーダー養成講習会を開き、修了者に対して認定を行っている。

種目別生涯学習スポーツ団体届出数 平成26年3月31日現在

	種 目	団体数
球 技	バレーボール	135
	バドミントン	89
	卓球	88
	バスケットボール	60
	キャッチバレーボール	43
	野球	55
	ソフトボール	38
	サッカー	96
	テニス	36
	その他	8
水泳	水泳	84
	その他	6
体操	体操	60
	エアロビクス	20
	その他	44
武道	剣道	39
	空手	17
	合気道	15
	その他	20
ダンス	社交ダンス	27
	フォークダンス	13
	その他	39
その他	野外活動	21
	ニュースポーツ	20
	その他	8
合 計		1,081

種目別スポーツリーダー数

平成26年3月31日現在

種 目	計
バレーボール	17
バドミントン	48
卓球	65
水泳	120
陸上	2
サッカー	2
テニス	1
ソフトボール	6
野外活動	1
ダンス	6
軽スポーツ	6
バウンドテニス	2
体操	60
健康トレーニング	2
クラブコーディネーター	78
ペタントンク	14
ソフトバレーボール	27
グラウンドゴルフ	14
インディアカ	28
ラケットテニス	8
ターゲットバードゴルフ	7
カヌー	2
スポーツチャンバラ	4
ウオーキング	45
ユニバーサルホッケー	4
フットサル	26
アイスホッケー	5
チュックボール	11
水中運動	39
エコロジースポーツ	1
ビーチボールバレー	30
ヘルシーダンス	18
合 計	699

注：複数種目登録者を含む。

●総合型地域スポーツクラブの育成

国の「スポーツ基本計画」（平成24年3月告示）では、スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会を創出するための取組の一つとして「総合型地域スポーツクラブ（区の略称SSC）」の育成を重点施策としている。

総合型地域スポーツクラブ（SSC）は、

- ・地域の人々が自主的に会費で運営する。
 - ・クラブの活動拠点となる施設を持っている。
 - ・複数種目の活動が楽しめる。
 - ・子どもから高齢者まで幅広い年齢層が交流できる。
 - ・クラブが主催するスポーツ事業が地域に提供される。
- などの特徴とした、今までになかった欧州型の地域スポーツクラブづくりを目指している。

区では、12年度から3か年にわたり、文部科学省のモ

デル市町村の指定を受け、総合型地域スポーツクラブを立ち上げ、積極的に育成・支援を行っている。

現在、7か所の区立体育館を活動拠点とし、会員制による自立的な運営を行っている。

総合型地域スポーツクラブ (SSC) 平成26年3月31日現在

クラブ名 (通称名)	設立年月日	主催・共催 事業参加者数	人
NPO法人 SSC谷原アルファ (SSC谷原)	平成14年 8月24日	22,308	
NPO法人 スポーツコミュニティー桜 (SSC桜台)	平成14年 9月 5日	8,731	
NPO法人 スポーツクラブホワイエ 上石神井 (SSC上石神井)	平成14年12月17日	11,844	
NPO法人 総合型地域スポーツ クラブ平和台 (SSC平和台)	平成14年10月 4日	24,991	
NPO法人 光が丘総合型地域 スポーツ・レクリエーションクラブ (SSC光が丘)	平成14年 9月10日	9,329	
NPO法人 コミュニティネットSSC 大泉 (SSC大泉)	平成14年 8月13日	137,780	
NPO法人 豊玉・中村地域スポーツクラブ クラブ プラッツ (SSC豊玉・中村)	平成21年 2月21日	22,010	

●スポーツ施設の整備

区民のスポーツ活動参加を促進するためには、まずスポーツ施設の整備を図り、活動の場を確保することが必要である。

平成26年3月31日現在、区のスポーツ施設は、体育館7館、プール7か所、成人野球場6面、少年野球場6面、庭球場23面、多目的運動場2面、陸上競技場1面、ゲートボール場2面、多目的広場3か所、スポーツ広場1か所である。

しかし、施設は区の人口に比較し十分とはいえない状況であり、今後もスポーツ施設の整備・充実を図る必要がある。

屋外施設種目別利用状況

平成25年度

区分	施設名	件数
成人 野球	学 田 公 園	1 607
	高 野 台	1 402
	北 大 泉	2 735
	東 台	2 956
少年 野球	練 馬 総 合 運 動 場	2 1,444
	大 泉 学 園 少 年 野 球 場	1 -
	荒川河川敷野球場 (硬式少年野球)	3 307
	大泉学園町希望が丘公園運動場	1 28
庭 球	豊 玉 中 公 園	3 2,536
	高 野 台	4 3,407
	び く に 公 園	2 1,526
	土 支 田	7 7,530
球	夏 の 雲 公 園	4 6,297
	大泉学園町希望が丘公園運動場	3 3,472
	陸上競技等	1 965
ゲートボール	練 馬 総 合 運 動 場	2 882
個人 利用	大泉さくら運動公園多目的運動場	13
	練 馬 総 合 運 動 場	6,741
ラグビー	大泉さくら運動公園多目的運動場	15
サッカー	大泉さくら運動公園多目的運動場	884
	大泉学園町希望が丘公園運動場	194
ニスポーツ	大泉さくら運動公園多目的運動場	114
	大泉学園町希望が丘公園運動場	2
	びく に 公 園 多 目 的 広 場	284
	夏 の 雲 公 園 多 目 的 広 場	-
	総合体育館東側多目的広場	52
	やまなみ公園多目的運動広場	-

注：件数について、練馬総合運動場は時間で集計している。

体育館の利用状況

平成25年度

区分	施設名	総合体育館	桜台体育館	平和台体育館	光が丘体育館	上石神井体育館	大泉学園町体育館	中村南スポーツ交流センター
		人	人	人	人	人	人	人
個人利用		39,817	7,996	40,884	40,645	44,520	48,268	32,997
団体利用		48,236	29,445	21,443	22,489	26,433	19,348	15,685
トレーニング		16,290	—	23,547	58,830	29,617	30,965	53,149
連盟主催大会等		31,215	1,541	15,583	16,957	5,554	17,733	22,073
教室・大会等		26,219	4,831	3,085	18,988	2,956	5,373	1,519
健康体力相談		—	—	—	289	—	—	—
自主事業		—	128	1,468	117	357	671	16,268
合計		161,777	43,941	106,010	158,315	109,437	122,358	141,691

※トレーニング室には説明会参加者を含む。なお、光が丘体育館の個人利用には屋内ランニングコース利用者を含む。

プールの利用状況

平成25年度

区分	施設名	石神井プール	三原台温水プール	平和台体育館温水プール	光が丘体育館温水プール	上石神井体育館温水プール	大泉学園町体育館温水プール	中村南スポーツ交流センター温水プール
		人	人	人	人	人	人	人
個人利用	幼児	8,660	3,994	3,403	5,505	2,522	2,140	8,495
	小・中学生	16,685	13,041	11,707	21,894	7,106	12,868	21,122
	高齢者	23,167	25,849	39,177	54,719	34,065	26,975	63,257
	心身障害者	3,281	25,607	22,921	37,592	23,737	25,212	33,811
	小計	778	1,714	1,366	3,597	1,833	2,682	4,336
		52,571	70,205	78,574	123,307	69,263	69,877	131,021
団体利用		—	24,404	10,160	16,441	12,933	25,544	14,942
教室・大会等		—	1,205	626	4,956	2,235	1,259	2,838
障害者専用コース		—	636	623	1,286	934	1,311	1,150
自主事業		—	482	1,641	408	840	0	8,594
合計		52,571	96,932	91,624	146,398	86,205	97,991	158,545

(4) 文化財を保存・活用・継承する

●文化財保護の推進

区には、郷土の歴史や自然を伝える有形、無形の多くの文化財がある。文化財は、先人の歴史・文化等の貴重な遺産であり、当時の人々の生活を理解するために欠かすことができない。また、歴史・文化の正しい理解は、将来の文化の向上、発展の基礎となるものである。しかし、都市開発の影響を受け、貴重な自然や文化財が消滅しつつある。

これらの文化財を守るためには、区民一人ひとりの理解と認識を高めることが必要である。区では、かけがえない文化遺産を保護・保存するとともに区民に紹介し、文化財に対する理解と認識の向上に努めている。

●文化財の指定・登録

練馬区文化財保護条例が昭和61年3月に制定された。条例に基づき、同年12月に学識経験者で構成された練馬区文化財保護審議会を設置している。

区指定・登録文化財は、保存・活用を図るために、区が事前調査を行い、文化財保護審議会の答申に基づき、所有者の同意を得て指定・登録される。平成25年度は6件の文化財を登録した。

※区内の指定・登録文化財については、226～227ページ参照。

●文化財保護のための主な事業

1 埋蔵文化財の調査・保存・活用

埋蔵文化財（遺跡等）は、開発行為による破壊の危険にさらされており、区では遺跡等の範囲の確認を行うとともに、その保護・保存に努めている。集合住宅建設などにより遺跡消滅のおそれがある場合は、発掘調査等を実施し、記録保存の措置をとっている。平成25年度は、遺跡地で工事を行う届出が106件、通知が4件あり、遺跡の有無を確認するための試掘等が87件、発掘調査が1件あった。

2 東京文化財ウィーク参加事業

「東京文化財ウィーク」は、都の呼びかけによる、国・都指定文化財の公開を促進する期間であり、25年度は、10月26日～11月4日までの10日間、区内8件の文化財（小野蘭山墓および墓誌、尾崎遺跡、練馬白山神社の大ケヤキ、三宝寺池沼沢植物群落、石神井城跡、丸山東遺跡方形周溝墓出土品、牧野記念庭園、池永道雲墓）を公開し、伝統文化係でつぎの企画事業を行った。

・ねりまの発掘調査速報展

8月21日～9月12日

解説会8月22日、9月4日

140人参加

・尾崎遺跡出土品解説会

11月10日 16人参加

・都指定文化財「板絵着色役者絵」の特別公開
10月28日～29日 126人参加
また、石神井公園ふるさと文化館で、つぎの企画事業を行った。

・「石神井城跡発掘パネル展」

10月26日～11月4日

・東京9区合同開催行事「来て・見て・発見！はじめよう古民家めぐり 古民家の魅力を伝えます」

10月2日～30日

3 郷土芸能ねりま座公演

区内で継承されている民俗芸能の普及・発展のために公演会を開催し、祭囃子連が4団体出演した（第14回）。

会場：生涯学習センター 228人参加

4 刊行物の発行

25年度は、つぎの刊行物を発行した。

- ・ねりまの文化財（年3回）
- ・埋蔵文化財調査報告28
- ・練馬区の遺跡地図

5 文化財説明板、道標の設置

身近な文化財に対する区民の理解を深めるため、説明板などの設置を行っている。25年度は、新規1件、修繕4件を実施し、総数173件となっている。また、道標は29か所設置している。

6 文化財防火デー

昭和24年1月26日、法隆寺金堂壁画が焼損したことをきっかけとして、毎年この日を中心に全国的に文化財防火運動が行われている。

区では、各消防署と連携しながら、文化財愛護のPRに努め、平成25年度は、妙福寺、南蔵院の2か所で、一斉放水等の訓練、石神井消防署では講演会を行い、695人の参加があった。

●文化財保護推進員

区内の文化財の現況を把握し、区民に文化財保護思想の普及・啓発を図るため、昭和63年2月に文化財保護推進員制度を設けた。

区では、文化財の所有者を始め多くの区民の協力の下に、文化財の保護・保存を行っている。

●尾崎遺跡資料展示室

春日小学校建設の際に調査した「尾崎遺跡」の資料展示室を、昭和58年、同小学校内に開設し、出土品約500点を展示している。平成25年度は延べ27人が来室した。

(5) 多様な文化・社会への理解を進める

●多文化共生と国際理解

区は交流会や各種講座を積極的に開催し、区民の国際理解を深めている。また、外国籍区民等への支援を充実させるなどして、外国籍区民が地域において快適に生活し、他の区民と交流できるための整備に努めている。平成25年度の事業内容はつぎのとおりである。

1 国際理解を深めるために

① 在住外国人との交流

在住外国人と区民との交流の場として、国際交流のつどい（11月）、国際交流サロン（原則第4土曜日他、9回）をそれぞれ開催した。

② 外国語講座

簡単な意思疎通がはかれるように、中国語、韓国語の初級外国語講座を開催した。

③ やさしい日本語研修

分かりやすい日本語によるスムーズな意思疎通を目指したやさしい日本語研修を、区職員と区民を対象として2回実施した。

2 外国籍区民への支援

① 外国語による相談コーナー

毎週月曜日～金曜日の午後、外国語による相談コーナーを設け、区の事業・文化・学習情報の提供や簡単な日常生活上の相談を受けている。（英語・中国語・ハンゲル※ハンゲルは金曜日のみ。）

② 文化交流ひろば 情報コーナー

平日10時～13時、土・日・祝13時～16時に、旧光が丘第五小学校に開設した文化交流ひろばに情報コーナーを設け、多言語により各種の生活情報を提供している。（英語：火・木・土、中国語：水・金・日、ハンゲル：月）

③ 初級日本語講座

日本語が十分に話せない外国人を対象に、日常会話やひらがなの読み書きを学ぶ講座と、ひらがなやカタカナの読み書き等の基礎学習修了者を対象とした講座を2期ずつ開催した。

また、日本語を母語としない外国籍の子供等のために初級の日本語指導のほか、学校の勉強の補習も行うこども日本語教室を学校休業期間を除く毎週土曜日に開催した（夏季は8月下旬に6日間実施）。

3 ボランティアの登録

区の窓口で日本語を母語としない外国人への通訳を行う通訳・翻訳ボランティアや、日本語講師のボランティア登録制度があり、登録を随時受け付けている。26年3月31日現在の登録者数は通訳・翻訳ボランティアが375人、日本語講師ボランティアが168人である。

●海外友好都市等との交流

1 北京市海淀区

昭和63年に「都区市町村長訪中国（団長・練馬区長）」が北京市を訪問したことから、海淀区との交流が始まり、平成4年10月13日に、海淀区長を区に招き「友好・協力交流に関する合意書」の調印を行った。

以降、教育・文化・スポーツなどの分野で交流を進めている。立野公園内の桃花源には、海淀区から贈られた碧桃樹が植えられている。

友好交流10周年に当たった14年には海淀区に桜を寄贈し、9月には区役所本庁舎アトリウムで「友好交流10

周年記念写真展」を開催した。11月6日には区長が海淀区を訪問し、改めて「友好・協力交流に関する合意書」の調印を行った。

友好交流15周年を迎えた19年は、7月に区立美術館で「練馬区・北京市海淀区友好文化交流展」を開催し、10月には区役所本庁舎アトリウム、12月には練馬文化センターギャラリーで「友好交流15周年記念写真展」を開催した。11月には区議会代表団が海淀区を訪問し友好を深めた。

20年1月に友好交流15周年と練馬区独立60周年を記念して海淀区から贈られた記念碑を区役所本庁舎正面玄関に設置した。

23年10月には公募区民（13人）による親善訪問団（5年から実施）を海淀区へ派遣した。

24年は友好交流20周年を記念して、8月に練馬文化センターで海淀区少年少女合唱団と練馬児童合唱団による合同演奏会を開催し、9月には区民による練馬区スポーツ交流団（14人）を海淀区へ派遣し交流を深めた。

2 イプスウィッチ市

昭和63年に練馬区国際交流友好都市提携調査団がオーストラリアを訪問したことから、クイーンズランド州イプスウィッチ市との交流が始まり、平成5年から区立中学校の生徒をイプスウィッチ市へ派遣している。

6年10月15日には、イプスウィッチ市長を区に招き、「友好都市提携に関する合意書」の調印を行った。

13年5月には、イプスウィッチ市に友好のシンボルとしてネリマガーデンが開園し、区長、区議会議長が開園式に出席した。

16年10月には区長がイプスウィッチ市を訪問し、「友好都市提携10周年に関する合意書」の調印を行った。

友好交流15周年を迎えた21年は、11月に区長、区議会議員団がネリマガーデンに建設された茶室の完成式典に出席し、今後の交流事業の発展に向けて意見交換を行った。

22年4月には区職員と練馬区手工芸作家連盟がイプスウィッチ市自治体150周年に参加し、現地にて展覧会とワークショップを行った。

23年1月に洪水により甚大な被害を被ったイプスウィッチ市に対して3月に区および区議会から義援金を送った。5月にはイプスウィッチ市の小学生から東日本大震災のお見舞いメッセージ付きのぬり絵が届いた。

24年10月にはイプスウィッチ市長と友好訪問団が区を訪れ、第35回練馬まつりに参加した。

3 諸外国との交流

9年11月には練馬区独立50周年、フランスにおける日本年などを記念し、フランス・ストラスブール市に桜を寄贈した。10年5月には同市からマロニエの苗木100本が寄贈され、区画街路3号線と中村小学校に植樹するなどの交流歴がある。

21年4月にフランス・アヌシー市とアニメ産業交流協

定を締結した。25年はタイ、韓国、ミャンマーなどからの視察団を受け入れている。

4 海外友好都市等紹介事業

(1) 海外友好都市紹介講座

① オーストラリア先住民アボリジニの文化～吹いてみようディジュリドゥ！～（5月）

② 中国農村部の民間芸術について～話を聞いてつくってみよう！中国切り紙～（1月）

(2) 海外友好都市紹介パネル展

区と海淀区およびイプスウィッチ市の交流について、パネルや写真等による紹介展示を区役所本庁舎アトリウムで行った。（5月、1月）

(3) 海外友好都市等紹介ケースの常設展示

海外友好都市およびアニメ産業交流を結んでいるフランス・アヌシー市を紹介するため展示ケースを区役所アトリウムに常設している。

5 ホームステイ・ホームビジット

区では「練馬区国際交流・多文化共生基本方針」に基づき、自治体間の交流のみならず、区民による主体的な国際交流を推進するため、ホームステイ・ホームビジット希望者を受け入れるホストファミリー（ボランティア）を随時募集している。

26年3月31日現在ボランティア登録数は95世帯である。

6 国内都市との交流

(1) 長野県上田市

昭和55年に長野県武石村（現上田市）に区立武石少年自然の家を開設したことから交流が始まり、平成6年11月10日に「友好提携に関する合意書」の調印を行った。その後、18年3月に武石村を含む4市町村が合併し、新たに上田市となったため、区長が上田市を訪問し、8月18日に「友好提携に関する合意書」の調印を行った。

上田市とは、照姫まつりや練馬まつりで物産の展示・販売による交流を行っている。25年は上田市の上田城千本桜まつりに区は出展し、物販を行った。

(2) 福島県塙町

区は塙町と災害時における相互援助に関する協定を締結しており、23年8月に東日本大震災でプールを利用できない塙町の小学生を区に招き、大泉小学校と南町小学校のプールを利用してもらうなどの交流を行った。

区の支援に対して、塙町からヤマツツジの大株が寄贈されることとなり、区からも練馬の鏡（ツツジ）を贈ることとし、24年5月2日風呂山公園100周年記念式典に区長、区議会議長が出席した。

塙町とは、照姫まつりや練馬まつりの他、区立施設のイベントなどで物産の展示・販売による交流を行っている。